

メーカー 消費者向け好評 カタログ

改修促進 製工の思惑一致

粘土瓦メーカーが発行する消費者向けカタログが好評だ。屋根工事業者から「50部欲しい」と要望が入り、各社とも想以上のペースで配布が進んでいる。消費増税後の普及を促す工費削減と、屋根材決定権者へ粘土瓦の優位性情報を届けたいメーカーの思惑が一致したようだ。

今年1月に(株)鶴弥(本社・半田市、鶴岡哲社長)が発行したのは「はじめの瓦Q&A 屋根選びをサポートBOOK」。カタログの表紙は、女性の屋根に関する基本的な質問をし、それに応える形式のA4判カタログ。製品紹介は一部に留め、多くは安全性や耐久性、生涯費用など粘土瓦の優位性を説明する内容だ。

同社によれば、当初は半年間で3万部を配布する計画だった。それが配布開始1カ月半で約1万

5千部が配布され、想定以上のペース。会社などで1部ずつを配布する、さきぞり型は、数は数十部単位で注文があるようだ。

昨年8月に「お施主様必見 瓦っていいじゃない」を発行したのは(株)山平(本社・高浜市、神谷英嗣社長)。製品紹介を抑え、空気味に粘土瓦の良さや訴える内容は鶴弥と同様だが、こちらは夫婦が主人公のマンガを使って



イラストや色使いで工夫 (左)は山平 (右)は鶴弥

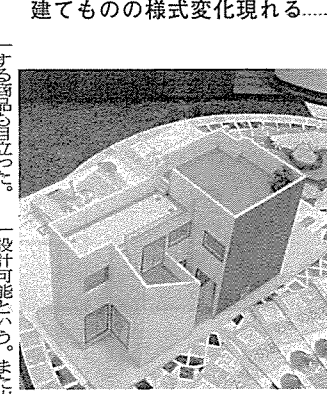
惣CjkでF形2製品 工場改造、プレス新設で

石州産地の瓦メーカー、(株)丸惣(本社・島根県江津市、佐々木賢一社長)は、このほど、長期使用住宅部材標準化推進協議会(長住協)の長期使用対応部材(Cjk)となるF形新商品2タイプを、年250万枚(積瓦換算)生産していくと発表した。

同社によると現在、同産地全体に占めるF形の

出荷割合は約5%、年間約300万枚だが、新商品の生産による割合が10%近くまで高まる。新商品のF形は、フルフラットタイプとラレンタイプ(Uタイプ)で、積瓦は自立構成される。大田市温泉津町にある大田工場(トンネル窯3基)の休場中のトンネル窯1基(1段5列55枚積換、全長70m、NGK乾焼炉9段式)も改造

建築・建材展 屋根なくして屋上庭園 軒ケラバゼロ換気部材 建てものの様式変化現れる



本紙3月18日号既報、第21回「建築・建材展」では屋根材以外にも多くの展示があり、建築様式や屋根形状の変化に関連する商品も目立った。

棟換気メーカーの(株)ウセサンエは軒やケラバの出がない建物の換気システムを「広小舞上換気」として提案。展示会期間中に近隣会場で開催したセミナーは活況だったという。

木造住宅で既存の屋根を取り払い、屋上庭園をつくる提案もあった。芝生を植えたりバルコニーにしたり活用方法は様々な。屋上の下地には板金で、緩い勾配の屋根を作るという。

環境関連では建物内部に自然光を導くシステムも複数展示があった。垂直、水平、L字の高反射鏡面ダクトを建物内に設置し室内に外光を導くシステムは、木造住宅でも

説明している点特徴。瓦屋根にしたら雨音に気がつかず、赤ん坊もぐっすり眠るようになったなどの内容。表紙には印象的な神谷社長の似顔絵。

同社長は「これまでにカタログ類を誰に訴えるのか明確でなかった」と振り返る。深く専門的な

形をした3つ折りのカタログに、かわいらしいイラストを用いて製品説明。また石州でも(株)山平(本社・島根県大田市、芝屋宜秀社長)はJ形の多様性を前面に出し、「オーダーメイドの屋根」作りでリフォーム提案している。

ケイミュー(株)本社・大阪府、小森隆社長が提案するK2耐震Lazoo(ラゾ)工法に断熱・耐震タイプが登場した。同工法は(株)カネシン(本社・東京、吉田孝志社長)とケイミューが共同開発したもの。既存の外壁を撤去せず、住んだまま短期間、低コストで耐震改修工事ができる。既存外壁に専用金具と垂木を施工、その上に耐震ササゲを施工する。K2耐震Lazoo工法は日本建築防協会の「住宅等防災技術評価」を受けており、新タイプでも新たに追加取得。施工は、同工法の施工登録、設計登録者に限られており、登録を受けるにはカネシンの講習会を受ける必要がある。

下面と連結する工法を示して。同展示会は東京ビッグサイトで開催の6つの展示会の一つ。4日間の来場者数は「建築・建材展」と「ジャンクション」の合計で約9万5千人、6展示会全体で約20万6千人。いずれも昨年より減、主催者発表。

(佐々木社長)が生産する「セラミックサンド」は、当日は同社品質管理部長の藤野一裕、外装事業部の佐々木勝巳両氏がセラミックサンドの活用事例を紹介した。

なお県では交流会に先立ち12日、おんぶの社会見学」と題し、江津市にあるセラミックサンドの製造工場、丸惣敬川工場を含む資源の再生工場の視察会長となる。

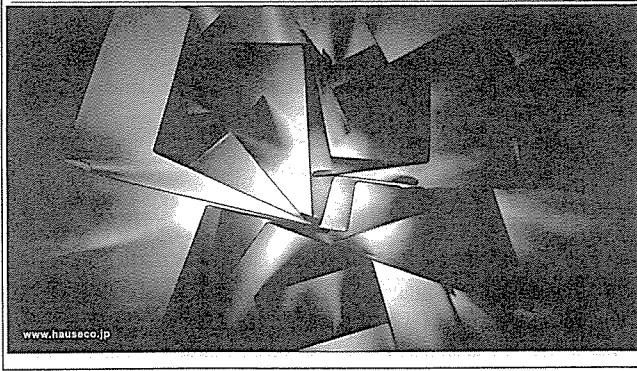
規格外瓦で交流会 産廃業者ら50名が参加

島根県環境生活部は3月14日、環境リサイクル交流会を松江市のくにびきメッセで開催した。テーマは「リサイクルビジネス」で、瓦工場から排出される規格外瓦を、コンクリートの細骨材として活用した事例(本紙1

セラミカを再生事業者指定

本紙1月28日号既報、石州産地の(株)セラミカ(本社・大田市、吉藤健一社長)は、民事再生手続き開始の申し立てを行ってきたが、経済産業省中間経済産業局は2月24日、連鎖倒産と関連中小企業者への影響を防ぐため、「再生手続開始申立等事業者」として同社を指定した。

これは指定中小企業信用保証法に基づくもので、同指定により、一定額の売掛金債権などを有している関連中小企業者に対して、特別措置として保証付き融資を申し込むことができる。



www.hauseco.jp

2014年4月1日、私たちは株式会社ハウゼコに生まれ変わります。

株式会社ハウゼコ (旧社名株式会社ハウゼンエー)

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 下村ビル2F
Tel. 06-4963-8266

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-3 日本橋中央ビル7F
Tel. 03-5201-5501

新製品 ケラバパッキン

ゼロ軒角の敷居の溝を安全に確保できます。漏水・耐火などの諸問題から開放される画期的な新商品!